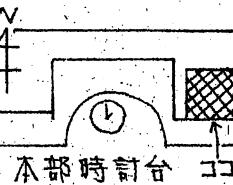


10・16 臨調開催二ノ市二ツビル

今、共に歩むべき道は
 ・臨調と大学
 ・臨路線と國民生活
 ・教育・福祉・社切り捨てと軍拡路線
 ・真の行政改革とは...

日時：10月16日（土）11時～
 場所：法経七番教室



本部時計台

第1部

* 基調報告 — 臨調路線の本旨、國民生活への影響
 実行委員会より

★ 現場からの報告

・国労 向日町運動所分会 余田秋香書記長
 ・府職労執行委員 小川 正氏

第2部

★ 京大における臨調路線の表われについて

職員、院生、学生 他 諸階層からの報告と討論

10・21全京大集会に 参加しよう!!

～反核平和の願いを裏りあるものに安
 保席棄・軍国主義化反対・臨調路線全
 京都の非核地帯化を求める10・21全
 集会～

・10月21日(木) 12:00～
 ・法経四番教室

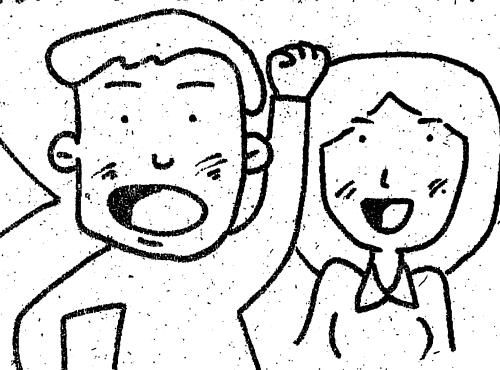


全
京
大
集
会

主催：京大六者懇（職員組合、生協理事会、同労働組合

・院生協議会、自治会連絡協議会、和進会労働組合）

全ての職場・研究室
 クラス・サークル・ゼ
 ミからの参加を。



1 社会・経済構造変化と
 行政改革の必要性
 2 行政改革を進める根柢無
 ① 実行への意
 ② 改革を進める根柢無
 対する指導・統制・監視機能を無
 を置いていた行政から国民の
 活力を底上げし、その方向け
 • 調整・補完に意識を置き行政改
 へんの実現をめざす
 ち、民間部門の発展により自
 立的・企業的に行なうことが通
 とならず事業につじの活性化
 の面で注目するべきである。
 これが社会の発展の基盤にな
 信じた多様性ととりもよしめる
 行政への影響の機械的な本質を
 改めて、地方への分権化の問題
 の問題が、問題である。この問題
 の中で、海外の潮流ナビ
 みを入れておるが、国の治
 庫組織の強度の外敵頭頭
 での運営の姿勢を立てよう。

第2臨調基本答申(1982.7.30) 第1部「行政改革の理念」冒頭部分